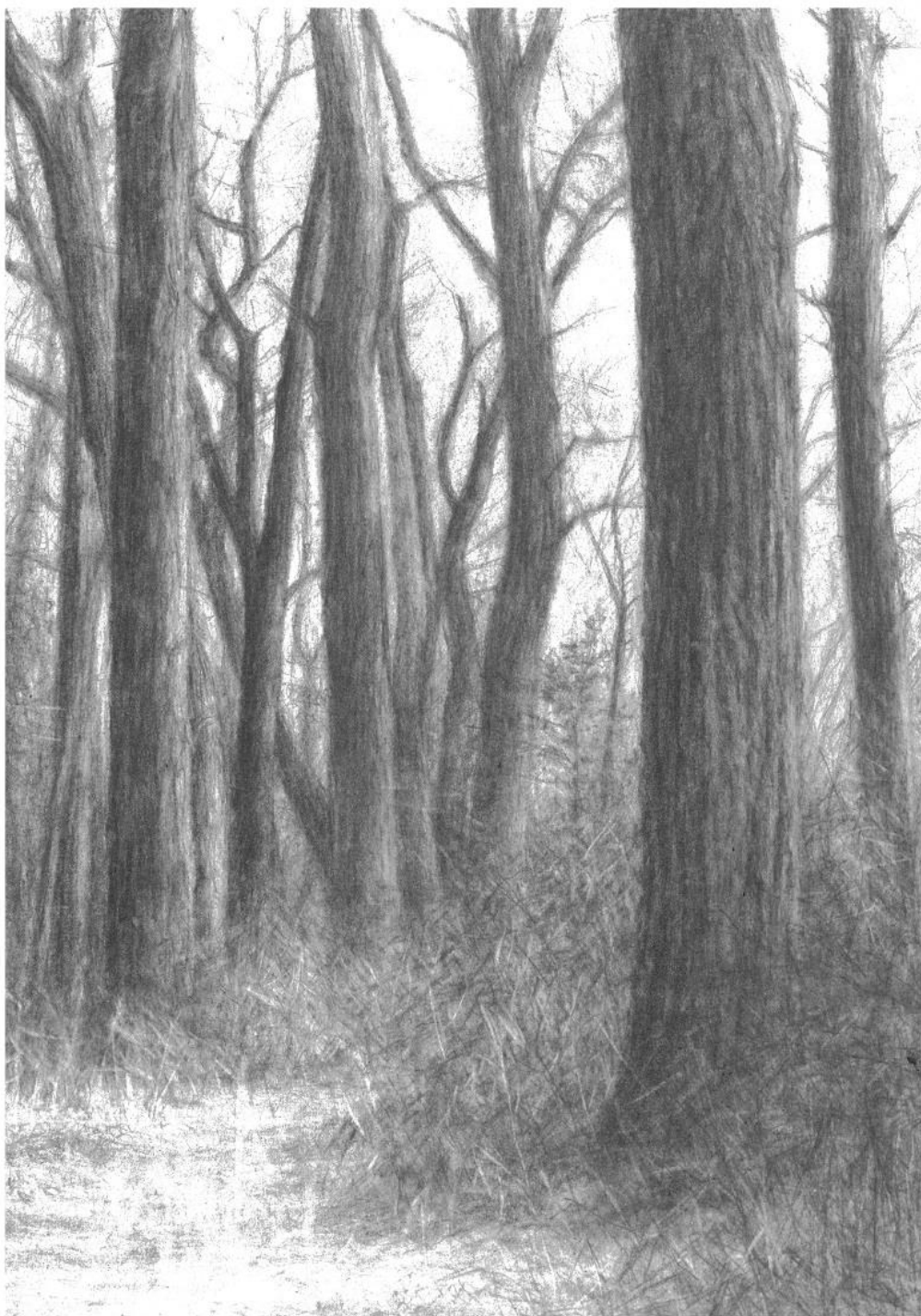


多 ま な び

 **放送大学** 東京多摩学習センターだより第19号 2017年3月発行



「多摩の風景2－雑木林－」 齋藤文孝

発行 放送大学東京多摩学習センター 〒187-0045 東京都小平市学園西町1-29-1

TEL : 042-349-3467 E-mail : tama-sc@ouj.ac.jp URL : <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/tama/>

退任のご挨拶



東京多摩学習センター客員准教授

は た の しげゆき
波田野 茂幸

みなさま、この3月をもちましてセンターの客員教員を退職することとなりました。皆様とは授業に関しては5年ほど、東京多摩学習センターにおける学習相談においては、約2年対応させていただきました。大変お世話になりました。

放送大学の学生さんの印象は、とにかく熱心であることです。授業での取り組みにおいても学習相談においても、熱意をいただき、私も大変励まされました。

授業では、臨床心理学演習を担当させていただきましたが、ご自分の体験と関心、授業での学びを各自がきちんと言葉で表し、これまでの自分を振り返って、現在の自分と対話されている様子やレポートに大変感銘を受けました。臨床心理学への関心は人それぞれで、興味の入り方は様々でしたが、「名言」と思うような皆様のことばは、私のこころに響いてフックをかけられたように意識に残っています。

また、学習相談では、時にはその方の歴史に触れている瞬間にも立ち会うことができました。学びを通してこれからの展望を作ろうとされている姿に感銘いたしました。

放送大学の入学式の式辞の中で、岡部洋一学長が「教養」が持つ現代における意味について述べられておられましたが、まさに、その言葉のように学ぶことで自らの人生を豊かになるようエネルギーに変換していっている姿に、大変刺激を受けました。

放送大学は社会経験を持ち第一線を終えて、自分をさらに生かす術を求めて入学される私よりもずっと先輩の皆様とも出会いましたが、その皆様が格闘しながらも、放送授業やオンライン授業など、これからの大学教育で求められる先端の教育環境に触れて学びを遂げていく姿に時代性を感じましたし、私自身の今後のロールモデルを頂いた気持ちです。私ももう少し時間ができたら、是非とも学んでみたい講座がいくつかあります。皆様の同級生となった際には、どうぞよろしくお願いします。

さて、最後に少し宣伝です。この4月より放送授業にて開始される「乳幼児・児童の臨床」(小林真理子先生・塩崎尚美先生編著)にゲストスピーカーとして2回ほど出演しております。画面を通して、皆様に何かが伝わればと思い私なりに気持ちを込めて語りました。ご視聴の程、どうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。

公開講演会「西武の時代―鉄道と団地から見た戦後思想史―」のご報告



講師：原 ^{はら} ^{たけし} 武史 放送大学教授（日本政治思想史）

担当科目：日本政治思想史（17）



去る2月4日（土）、東京多摩学習センターで公開講演会「西武の時代―鉄道と団地から見た戦後思想史―」が開講されました。

講師の原武史教授の専門分野は日本政治思想史で、近代天皇制・鉄道・団地などをテーマとした独創的な研究で多くの著書を発表し、毎日出版文化賞・司馬遼太郎賞など数々の賞に輝いています。2016年より放送大学教授に就任されました。

今回の講演会の受講申込は受付開始8日目で100名を超え、大変な勢いで満員御礼となりました。

講演の冒頭、原教授ご自身幼少期を西武沿線にある滝山団地などで過ごされ、西武鉄道や団地に強い思い入れがあると述べた後、滝山団

地とワルシャワの団地はよく似ていることが写真で示され、両者とも第二次世界大戦後のソ連の集合住宅の影響を受けていることが説明されました。

そして、戦後の西武鉄道の歴史および西武沿線の団地住民の政治意識についての考察が詳しく語られました。具体的には、西武グループの創業者・堤康次郎氏は親米反ソの保守的思想の持ち主だったが、皮肉にも西武沿線は団地の増加に伴い革新勢力が強くなり堤氏本人の思想とは真逆の政治風土になったこと、中央線沿線の住民運動は国家・米軍との対決だったが、西武沿線の住民運動は巨大資本・堤家との対決だったことなど。

さらに、堤康次郎氏のワンマン経営に関するエピソード、西武鉄道は大手私鉄の中で唯一社史を出していないといったトリビア、旧セゾングループ代表・堤清二氏や日本共産党前議長・不破哲三氏へのインタビューの思い出など、幅広い話題が、時には軽妙に、時には熱く語られ、参加者は終始大いに盛り上がっていました。

原教授は最近の西武鉄道の経営、とりわけ西武秩父から渋谷・横浜への直通列車の新設を西武の脱池袋化・東急へのすり寄りとし評し憂えているようで、「誇りを持てよ！もっと自分たちのさあ、沿線とか風土とか歴史に対して！」という西武鉄道への愛のこもった痛烈なエールで講演は締めくくられました。

＜参加者の感想＞

- ・ 公団の話に始まり西武鉄道の歴史など楽しく聞けました。また先生の話を知りたいと思いました。
- ・ 講演会は期待以上のお話で、長野から行った甲斐がありました。放送大学に全科履修生として出願して、原先生の講義を迷わず登録しました。
- ・ 原先生の熱い西武沿線愛を聴くことができました。先生の広い視野、独特の感覚、近現代史の切り口が本当に面白く、全ての著作を愛読しています。
- ・ 沿線によって住民の思想（民度）が違ふことが根拠を以て理解することが出来、非常に楽しく聞けました。もう少し長くお話いただいてもよかったくらいです。
- ・ 西武を中心とした幅広い話が聞けてよかった。思想からみる沿線開発という考えが勉強できてよかった。
- ・ 知識を見事につなぎストーリーを組み立てて、ざっくばらんな話し方で笑えばなしでした。学校の先生に滝山団地の人が多く、滝山の話は全くもって他人事ではなく自分の歴史の一部です。
- ・ さりげなく他社線の歴史にもふれられていて、大変楽しく聞かせていただきました。脱線気味の話題が面白い。
- ・ 原さんの著書を何冊か読みました。これからの時代、団地はシェアして生きていくことを考える視点になるのではないかと考えています。

〔参考文献〕

原武史『レッドアローとスターハウス―もうひとつの戦後思想史』新潮社、2012年

原武史『滝山コミュニケーション1974』講談社、2007年

原武史『日本政治思想史』放送大学教育振興会、2017年

2016年度秋の所長表彰



9月25日（日）、秋の所長表彰が行われました。東京多摩学習センターでは、卒業（修了）者の中から優秀な成績を修めた方に「成績優秀者賞」を、センターで定めた複数のコース等を卒業（修了）した方に「生涯学習奨励賞」を授与しています。

今回、成績優秀者賞は8名、生涯学習奨励賞は22名の方が受賞されました。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

2016年度学生研修旅行



10月13日（木）、学生研修旅行が実施されました。

今回は埼玉県比企地方を学生30名・教職員4名で巡りました。埼玉伝統工芸会館での和紙の紙漉き体験・各種工芸品の展示見学、晴雲酒蔵での酒造り見学、吉見百穴での横穴墓群遺跡・地下軍需工場跡・天然記念物（ヒカリゴケ）見学など、地域の文化・歴史に関心を持ち理解を深める有意義な旅でした。

パソコン学習相談のご案内



東京多摩学習センターでは、2017年度も「パソコン学習相談」を開催します。

パソコンの操作に自信がない・情報系科目の学習でわからない点がある等の悩みをお持ちの方は、当センターの山崎秀記客員教授にご相談ください。実習室で一緒にお悩みの解決に取り組みます。

毎週火曜・木曜（多摩ゼミ開催期間中は未定）の13時半～15時実施、事前予約は不要、相談は無料です。

日程を変更する場合がございますので、当学習センターのホームページや掲示を毎月ご確認の上ご来所願います。

今号の表紙について

<作品詳細> 2017年、210×297、水彩紙、鉛筆

<作者> 東京多摩学習センター図書室・視聴学習室担当職員 齋藤文孝（さいとう ふみたか）

<作者略歴> 1998年武蔵野美術大学油絵学科卒。2007年上野の森美術館大賞展入選、08年賞候補。

09年はままつ絵画公募入選。12年～16年創画展、13年～16年春季創画展入選、第40回創画展奨励賞。03年～16年個展・グループ展多数。現在創画会会友。

<今号の絵について> 「古くから、この地方に暮らしてきた人々は、雑木林を大切に育て、その豊かな恩恵を暮らしの隅々に活かし、共に歩んできました。今なお地域一帯に広がる雑木林の一年を見つめていきたいと思っています。」（齋藤文孝）

2017年度多摩ゼミ（センターゼミ）開催予告

東京多摩学習センターでは2017年度、所長・客員教員によるゼミを下記のとおり開催します。
ゼミとは、放送授業や面接授業とは異なり、少人数の学生による発表や討論が中心の授業形態です。
学生・教員とのより深いつながりの中で、学びを深めてみてはいかがでしょうか。
各ゼミの詳細は、4月以降に当学習センターのホームページ・掲示等でお知らせします。
※ゼミは課外授業のため単位になりません。 ※参加費は無料です。

ゼミテーマ	担当教員	開催日程
骨と歯の病気の薬物治療 アドバンスコース	大谷 啓一 東京多摩学習センター客員教授 東京医科歯科大学名誉教授	6～7月 水または木 4回
プログラミングで遊ぶ	山崎 秀記 東京多摩学習センター客員教授 一橋大学名誉教授	5～6月 火または木 4～5回
プルーストを読む	中野 知律 東京多摩学習センター客員教授 一橋大学社会学研究科教授	6～7月 水または木 4～5回
能への招待（仮題）	姫野 敦子 東京多摩学習センター客員准教授 清泉女子大学准教授	秋
民話に読むロシアの生活	坂内 徳明 東京多摩学習センター所長 一橋大学名誉教授	6～7月 4～5回

学びの窓口（所長・客員教員による学習相談）のご案内

学習の方法・進め方・卒業研究・大学院進学など修学上の諸問題について、当学習センターの所長・客員教員が個別相談に応じます。

希望者は、下記の表を参考に、電話・メール・事務室窓口にて事前にお申し込みください。希望者と教員双方の日程を調整したうえで、相談日を決定します。

各教員の出校日は、当学習センターのホームページ（「学習相談一覧」に当月の出校表を掲載）・掲示をご確認ください。なお、出校日は変更になることがありますので、事前に必ず事務室に確認願います。

教員名・現職	出校日	専門分野	メッセージ	担当面接授業科目名
大谷 啓一 東京多摩学習センター客員教授 東京医科歯科大学名誉教授	水・木 午後	薬理学・歯科 薬理学	薬の効き方や、どうして薬が病気を治せるのか、また人と医療の問題も話し合ってみましょう。	（予定）骨と歯の病気の薬物治療 （第2学期）
山崎 秀記 東京多摩学習センター客員教授 一橋大学名誉教授	火・木 午後	理論計算機科学	コンピュータについて、一緒に考えてみませんか。なぜ万能で小さく速いのか。何でもほんとうにできるのか。そこには先人の知恵と工夫が詰まっています。	計算機科学入門 （第1学期） 言語理論とオートマトン （第2学期）
中野 知律 東京多摩学習センター客員教授 一橋大学社会学研究科教授	木 午後	フランス語圏 文芸思想	フランス文学のさまざまなかたちについて、文学作品を読みながら一緒に考えていきましょう。	『失われた時を求めて』の世界 （第1学期）
姫野 敦子 東京多摩学習センター客員准教授 清泉女子大学准教授	水 午後	日本中世文学・ 歌謡文学	日本の古典文学と歌について、一緒に語り合ひましょう。鎌倉時代や室町時代の人々の想いに耳を傾けてみませんか？	室町時代の小歌集を読む （第1学期）
星 薫 東京多摩学習センター客員准教授 前放送大学准教授	土 午後 （月1回）	心理学	初めての試験を控えている方、そろそろ卒業研究を考え始めている方、認定心理士について相談してみたい方など、どうぞご相談ください。	心理学文献講読2 （第1学期） 心理学文献講読3 （第2学期）
坂内 徳明 東京多摩学習センター所長 一橋大学名誉教授	火～土	ロシア民俗学・ 文化史	民衆文化の歴史と構造について考えるための「テクスト」作りのサポーターになります。	民衆文化史序説 （第1学期） 版画に見るロシア庶民生活誌 （第2学期）

たま祭2016

(第4回放送大学東京多摩学習センター文化祭)

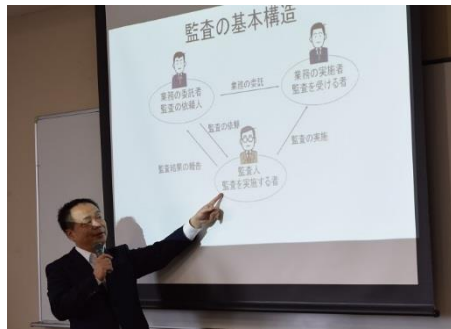


10月8日(土)・9日(日)、たま祭2016(第4回放送大学東京多摩学習センター文化祭)が開催されました。

10月8日は第2学期の入学者の集いが実施されたため、新入生の方々を中心に例年より多くの学生が展示・発表等に目を留めていました。

また、10月9日は当学習センター開設15周年記念公開講演会として齋藤正章・放送大学准教授の「不正と戦うー内部監査の視点から」が開催され、一般の方々にも多数ご来場いただきました。

各サークルによる活動発表・展示、同窓会による修学相談、同窓生個人による卒業論文・修士論文発表および作品発表など、多数の参加・多岐にわたる充実した内容で盛況のうちに終えることができました。



齋藤正章先生 公開講演会



天文同好会・宇宙校 展示



茶道クラブ・無門会 お茶席



漢方クラブ 展示



ぶら多摩クラブ 展示



古文書学習会 展示



江戸文化を楽しむ会 展示



卒論・修論発表、数学クラブ講演会



東京多摩同窓会 記念写真展示

多摩文化スポット紹介 第1回：小平市平櫛田中彫刻美術館

当学習センターが所在する多摩地区（東京都のうち23区と島しょ部を除く自治体）には、歴史・文化・芸術等に
触れ教養を高めることができる場所がいろいろ点在しています。

意外と知られていないそれらの場所を「多摩文化スポット」としてご紹介します。

第1回は、小平市平櫛田中彫刻美術館です。（当学習センターから徒歩3分ほどの場所にあります）

この美術館は、日本近代彫刻の巨匠・平櫛田中（ひらくし でんちゅう）の作品を保存・展示し、その功績を永く
顕彰するとともに、市民文化の向上を図ることを目的として、昭和59年に平櫛田中の旧宅を公開し、「小平市平櫛
田中館」として開館しました。その後、平成6年に展示館を新築し、平成17年にご遺族から作品の寄贈を受けたこ
とを機に、平成18年4月に館名を「小平市平櫛田中美術館」へ変更し、現在に至っています。

田中が22年の歳月をかけて完成させた代表作『鏡獅子』、岡倉天心から推奨を受けた出世作『尋牛』、生ぬるい人
間を食べた鬼がそのまずさに吐き出した様を彫り上げた大作『転生』など、見る者に強い印象を与える作品が多数収
蔵されています。また、彫刻だけでなく、「六十七は はなたれこぞう おとこざかりは 百から百から」（『不
老』）といった書も味わい深いです。



当学習センターでは、平成28年度第2学期に美術館学芸員の藤井明先生による
面接授業「近代日本彫刻史」が開講されました。この面接授業は平成29年度第2
学期も開講予定です。授業の一環として美術館に行き、藤井先生の解説を聞くこ
とができます。

また、2月3日～3月12日に開催された美術館特別展「ロダン没後100年
ロダンと近代日本彫刻」における美術講座が当学習センターを会場として開講され
ました。

同じ市にあり距離も近い施設同士、今後も協力して地域社会の文化向上に寄与で
ければ幸いです。小平市平櫛田中彫刻美術館に、ぜひ足を運んでみてください。

<開館時間>午前10時～午後4時 ※なるべく午後3時30分までに入館してください

<休館日>火曜日（ただし、祝日の場合はその翌日）、年末年始、展示替期間

<観覧料>一般300円 小・中学生150円 ※団体割引あり、特別展はその都度定めます

<住所>〒187-0045 東京都小平市学園西町1-7-5

※西武多摩湖線 一橋学園駅南口より徒歩10分、JR武蔵野線 新小平駅よりタクシー5分

<TEL&FAX>042-341-0098 <URL><http://denchu-museum.jp>



所長の迷想

東京多摩学習センター所長 坂内徳明（ばんない とくあき）

ここに掲げた私の似顔絵は、2015年12月に武蔵小金井駅近くの定食屋で、子
連れで隣のテーブルに座った女性が短時間に描き、何も言わずに子供により渡された
ものである。おそらくその男の子と小生が拙いコンタクトを取ったことのご縁として
だろう。「袖すりあうも・・・」の言葉どおり、こうした偶然のコミュニケーションは
とても嬉しく、大切に保管してある（無断掲載深謝）。願わくば、作者が放送大学にご
入学されたならば、お会いして心から感謝の気持ちを伝えたいと思うものです。

【編集後記】

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。また、大学説明会やお電話で出願についてご相談いただいた方々に感謝申し上げ
ます。放送大学は1983年に設置された通信制大学ですが、まだまだ知名度が高いとは言えず、東京多摩学習センターの存在を
知らない人が多いと感じています。本学および当学習センターに興味・関心を持っていただくため、公開講演会・大学説明会・個
別相談会などを実施しています。この機関紙『多まなび』を通して、当学習センターの活動の一端が伝われば幸いです。

今号も、制作にあたってたくさんのご協力をいただき誠にありがとうございました。また、他の学習センターの機関紙も紙面づ
くりの参考にさせていただき、どのセンターの機関紙にも学ぶべき点がありました。今号の編集後記は、私が感銘を受けた、他セ
ンター機関紙からの引用で締めくくりたいと思います。

「すべての国と組織に明るい『将来がある』わけではないけれども、すべての人間には死ぬまで成長する時間がある。」

（滋賀学習センター機関紙『樹滴』第101号1頁、吉川栄治所長「金太郎鮎は見はてぬ夢をみる」より） [総務係 小林]

2017(H29)年度第1学期カレンダー(教養学部・修士選科生・修士科目生)

注)大学院全科生は『研究指導履修の手引』『学生生活の葉』をあわせてご参照下さい。

4月

月	火	水	木	金	土	日
				放送教材貸出停止期間 (4/1～4/7)	1	2 入学者の つどい
3 閉所日	4 パソコン 学習相談	5	6 パソコン 学習相談	7	8	9 同窓会 講演会
10 閉所日	11 パソコン 学習相談	12	13 パソコン 学習相談	14	15 面接授業 空席発表	16
17 閉所日	18 パソコン 学習相談	19	20 パソコン 学習相談	21 面接授業 追加登録 抽選会	22	23
24 閉所日	25 パソコン 学習相談	26	27 パソコン 学習相談	28	29 昭和の日	30

7月

月	火	水	木	金	土	日
		図書・放送教材貸出停止期間 院 7/7～7/22 学部 7/9～7/30			1	2
3 閉所日	4 パソコン 学習相談	5	6 パソコン 学習相談	7	8	9
10 閉所日	11 パソコン 学習相談	12	13 パソコン 学習相談	14	15	16
17 海の日	18 パソコン 学習相談	19	20 パソコン 学習相談	21 試験 (院)	22 試験 (院)	23 試験 (学部)
24 閉所日	25 試験 (学部)	26 試験 (学部)	27 試験 (学部)	28 臨時 閉所日	29 試験 (学部)	30 試験 (学部)
31 閉所日						

5月

月	火	水	木	金	土	日
1 閉所日	2 臨時 閉所日	3 憲法 記念日	4 みどりの 日	5 こどもの 日	6 	7
8 閉所日	9 パソコン 学習相談	10	11 パソコン 学習相談	12	13	14
15 閉所日	16 パソコン 学習相談	17	18 パソコン 学習相談	19	20	21
22 閉所日	23 パソコン 学習相談	24	25 パソコン 学習相談	26	27	28
29 閉所日	30 パソコン 学習相談	31 夏季集中型募集受付 看護: 5/1～5/31 司書: 5/1～6/7			通信指導提出期間 について 郵送 5/24～6/7(必着) web 5/17～6/7 17:00	

8月

月	火	水	木	金	土	日
	1 臨時 閉所日	2 臨時 閉所日	3 パソコン 学習相談	4	5 祭	6
7 閉所日	8 パソコン 学習相談	9	10 パソコン 学習相談	11 山の日	12 臨時 閉所日	13 臨時 閉所日
14 閉所日	15 パソコン 学習相談	16 卒研履修 申請 8/16～24	17 パソコン 学習相談	18	19 教員免許更新 講習試験	20
21 閉所日	22 パソコン 学習相談	23	24 パソコン 学習相談	25	26	27
28 閉所日	29 パソコン 学習相談	30	31 パソコン 学習相談 29-1 学生 募集期限①			

6月

月	火	水	木	金	土	日
		29-1学生募集 開始6/15～9/20	1 パソコン 学習相談	2	3	4
5 閉所日	6 パソコン 学習相談	7	8 パソコン 学習相談	9	10	11
12 閉所日	13 パソコン 学習相談	14	15 パソコン 学習相談	16	17	18
19 閉所日	20 パソコ ン	21	22 パソコン 学習相談	23	24	25 卒 研 ガイダンス
26 閉所日	27 パソコン 学習相談	28	29 パソコン 学習相談	30		

9月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4 閉所日	5 パソコン 学習相談	6	7 パソコン 学習相談	8	9	10
11 閉所日	12 パソコン 学習相談	13	14 パソコン 学習相談	15	16	17
18 敬老の日	19 臨時 閉所日	20 29-1 学生 募集期限②	21 パソコン 学習相談	22	23 秋分の日	24 学位記 授与式
25 閉所日	26 パソコン 学習相談	27	28 パソコン 学習相談	29 看護夏季集中 単位認定試験	30 休学・復学 退学届 ×切日	

パソコン学習相談開催予定日(講師:山崎客員教授)

(注)このカレンダーは2017年3月末時点のものです。日程等の変更があった場合は、学習センターHP・センター内の掲示板等でお知らせいたします。